国指定三貫島鳥獣保護区 三貫島特別保護地区計画書 【指 定】

令和3年11月1日 環境省

1 特別保護地区の概要

(1)特別保護地区の名称 三貫島特別保護地区

(2) 特別保護地区の区域

岩手県釜石市所在三貫島の区域及び周辺岩礁

(3) 特別保護地区の存続期間

令和3年11月1日から令和23年10月31日まで(20年間)

2 特別保護地区の保護に関する指針

(1)特別保護地区の指定区分 集団繁殖地の保護区

(2) 特別保護地区の指定目的

当該区域は、岩手県釜石市北東の両石湾沖、本州本土から約 1.5km の場所に位置する三貫島の 全域で、北西約 1 km、南北約 500 m、面積は約 30 ha の小島嶼(無人島)である。最高標高は 128 mで、海岸線の多くが険しい断崖地形となっている。

当該区域は、ヒメクロウミツバメ(環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類)を始めとするウミツバメ類3種の全国的に重要な繁殖地であるほか、三陸沿岸におけるオオミズナギドリ(岩手県レッドデータブックDランク)の最大の繁殖地ともなっている。

ヒメクロウミツバメは、日本近海に分布し、三貫島に繁殖のために飛来する海鳥である。国内では数箇所の繁殖地が確認されているものの、生活史や食性についてはほとんど知られておらず、 三貫島は太平洋側北部において唯一確認されている繁殖地である。

また、国内で繁殖地が3箇所のみ確認されているクロコシジロウミツバメ(環境省レッドリスト絶滅危惧 I 類、国内希少野生動植物種、岩手県レッドデータブックBランク)が少数ながら繁殖しているほか、コシジロウミツバメ(岩手県レッドデータブックDランク)も繁殖しており、これら3種のウミツバメ類が同所的に繁殖する唯一の場所であることからも重要性が高い。ウミツバメ類の集団繁殖地は島西端部に確認されており、平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震による斜面崩壊により、繁殖地の半分程度が被害を受けた。その後も営巣地として不安定な状況が続いているが、継続して繁殖している可能性が確認されている。島西端部の集団繁殖地と同様の環境は島内の他の地点にも存在し、これらの地点においてウミツバメ類の繁殖の可能性もあるが、急峻な地形のため詳細な確認が困難となっている。

以上のとおり、当該区域は島全域がヒメクロウミツバメを始めとする希少な海鳥の繁殖地として重要であることから、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(平成 14 年法律第88 号)第29条第1項に規定する特別保護地区に引き続き指定し、当該区域に生息する鳥獣及びその生息地の保護を図るものである。

(3) 管理方針

- 1)集団繁殖地の保護区として、ヒメクロウミツバメ、クロコシジロウミツバメ等の希少な海鳥類の繁殖環境を保護するため適切な管理に努める。
- 2) 環境省職員及び鳥獣保護区管理員による年2回の上陸巡視を行い、ヒメクロウミツバメを

始めオオミズナギドリ等の海鳥、その他の鳥獣の生息動向を把握する。

- 3) 鳥類の安定的な繁殖環境の保全のため、関係地方公共団体、地域住民等との連携協力に努める。
- 3 特別保護地区の面積内訳

別表1のとおり。

- 4 当該区域における鳥獣の生息状況
- (1) 当該区域の概要
 - ア 特別保護地区の位置

当該区域は、岩手県釜石市北東の両石湾沖の本州本土から約 1.5km に位置し、島の中心部は北緯 39 度 18 分、東経 141 度 59 分である。

イ 地形、地質等

当該地区は、北西約1km 南北約500m、面積約30haの最高標高128mの小島嶼(無人島)で、海岸線の多くが険しい断崖地形である。平成23年3月の東北地方太平洋沖地震で生じた斜面崩壊と津波により、島西端部のウミツバメ類の繁殖地が半分程度埋まるなどの被害が発生したが、その後も繁殖の可能性が確認されている。急峻な地形のため確認が困難な島西端部以外の地点でのウミツバメ類の繁殖の可能性も示されている。

ウ 植物相の概要

当該区域では、島の海岸沿いや崖地にラセイソウ—ハマギク群落が分布し、中央部のやや 緩傾斜地にタブノキ群落、ケヤキ群落、ヤマツツジ—アカマツ群集の木本群落が分布してい る。島の北側斜面には木本群落を取り巻くようにススキ群落が分布している。植物相は 64 科 181 種となっている。

エ 動物相の概要

当該区域では、鳥類としてはウミツバメ類、オオミズナギドリ、ウミスズメ、ヒメウ等の海鳥、シジュウカラやメジロ等の森林性の鳥類、オジロワシ、オオワシ、ハヤブサ等の猛禽類など 12 目 28 科 57 種が確認されている。

当該区域は、ウミツバメ類の集団繁殖地となっていることに加え、オオミズナギドリの集団繁殖地ともなっており、三陸沖7島において最大の繁殖地とされている。また、周囲の小島や岩礁では、ウミウ、ウミネコ、オオセグロカモメ等が繁殖している。

その他の動物類の確認はほとんどなく、獣類では近年コウモリ類1種の確認があるが、鳥類以外の生物相は少なく、海鳥類の繁殖の脅威となるネズミ類やヘビ類の確認記録がないことから、海鳥の繁殖環境として貴重な環境となっている。

(2) 生息する鳥獣類

ア 鳥類

別表2のとおり。

イ 獣類

コウモリ類1種の記録があるのみ。

(3) 当該地域の農林水産物の被害状況

当該区域においては、農林水産物への被害は発生していない。

5 施設整備に関する事項

(1) 鳥獣保護区用制札

(2) 特別保護地区用制札

(3)案 内 板

(4)給水器(5)給餌台

箱 (6)巣

(7) そ の 他

6 参考事項

(1) 当初指定

昭和56年11月1日(昭和56年10月27日 環境庁告示第97号)

(2) 経緯

平成3年11月1日(平成3年10月31日 環境庁告示第49号) 再指定

平成13年11月1日(平成13年10月29日 環境省告示第60号) 再指定

別表1 国指定三貫島鳥獣保護区(三貫島特別保護地区)の面積内訳

◆形能別而藉内訳

	▼ ハフ:155701田1月11月17									
			鳥獣保護区		特別保護地区			特別保護指定区域		
		既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大 (縮小) 後の面積
彩	総面積	(25) 30 ha	ha	ha	(25) 30 ha	ha	ha	ha	ha	ha
	林 野	(25) 26 ha	ha	ha	(25) 26 ha	ha	ha	ha	ha	ha
	農耕地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
	公有水面	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
	その他	(0) 4 ha	ha	ha	(0) 4 ha	ha	ha	ha	ha	ha

◆所有別面積内訳

◆所有別面積内訳										
		鳥獣保護			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大 (縮小) 後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大 (縮小) 後の面積	
国有地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
─ 国有林	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
林野庁所管	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
■ 制限林	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
│	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
─ 砂防指定地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
□ 普通林	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
一 文部科学省所管	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
■ 国有林以外の国有地 	(0) ha	ha	ha	(0) ha 4	ha	ha	ha	ha	ha	
環境省所管	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
地方公共団体有地	(25) 26 ha	ha	ha	(25) 26 ha	ha	ha	ha	ha	ha	
- 都道府県有地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
制限林地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
├ 保安林	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
— 砂防指定地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
□ □ その他	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
一 普通林地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
一 その他	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
一市町村有地等	(25)			(25)						
#:UTB ++ Ub	26 ha	ha	ha	26 ha	ha	ha	ha	ha	ha	
制限林地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
- 保安林	(25) 26 ha	ha	ha	(25) 26 ha	ha	ha	ha	ha	ha	
砂防指定地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
□ その他	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
- 普通林地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
- その他	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
私有地等	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
— 制限林地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
├─ 保安林	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
— 砂防指定地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
□ その他	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
普通林地	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
└ その他	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
公有水面	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
	(25)			(25)						
計	30 ha	ha	ha	30 ha	ha	ha	ha	ha	ha	

▲仙江会にトス担制区域

▼他伝りによる規則区域	▼他法令による規制区域								
	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大 (縮小) 後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大 (縮小) 後の面積
自然環境保全法による地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
自然公園法による地域 (三陸復興国立公園)	(25) 30 ha	ha	ha	(25) 30 ha	ha	ha	ha	ha	ha
特別保護地区特別地域普通地域	(25) 30 ha			(25) 30 ha					
文化財保護法による地域 (三貫島オオミズナギドリ及 び ヒメクロウミツバメ繁殖地)	(25) 26 ha	ha	ha	(25) 26 ha	ha	ha	ha	ha	ha

- (任)
 1. ヘクタール単位とし、原則として小数点以下を四捨五入する。
 2. 面積の精査により、数値の変更があった場合は、精査前の面積を既存面積の項に()書きで上段に記載する。
 3. 「形態別内訳」の水面については、干潟の面積を内数で()書きで記入する。
 4. 「所有者別内訳」の保安林については、森林法第25条第1項各号の目的別に面積を記載する。

- 5. 「他の法令による規制区域」については、自然環境保全法に基づく指定地域(国指定自然環境保全地域及び都道府県指定自然環境保全地域)、自然公園法に基づく指定地域(国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園)、文化財保護法に基づき区域指定地域されている地域のいずれかに該当する場合に、それら規制区域ごとに名称と面積を記入する。

力モ 対モ カルガモ クロガモ クミアイサ クミアイサ クミアイサ クミアイサ クミアイサ クミッパメ 番手県C 条島 を島 クシミノメデドリ クミッパメ 条島 を島 カオオミアドリ クミッパメ 番手県D 日常 国内高少 日子県B 日上メウロウミツパメ カースリカン カモメ の 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	- II	科	種または亜種	種の指定等	備考
カイツブリ カイツブリ アカエリカイツブリ 岩手県D を島で					
カイツブリ カイツブリ アカエリカイツブリ 岩手県D			カルガモ		
カイツブリ カイツブリ アカエリカイツブリ 岩手県D 冬島 カイツブリ カイツブリ アカエリカイツブリ 岩手県D 冬島 日本			シノリガモ	岩手県C	冬鳥
ウミアイサ 次の 次の 次の 次の 次の 次の 次の 次			クロガモ		冬鳥
カイツブリ カイツブリ マカエリカイツブリ 岩手県) 冬島 岩手県) 日本			ウミアイサ		冬鳥
まズナギドリ ウミツバメ カンオドリ ウミツバメ オオミズナギドリ クロコシジロウミツバメ 岩手県B フシジロウミツバメ カラウ ウミウ マラウ マラウ フシウ アオサギ 出着手県B 留島 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	カイツブリ	カイツブリ	アカエリカイツブリ	岩手県D	冬鳥
ウミツバメ クロコシジロウミツバメ CR 国内希少 岩手県B 夏島 カツオドリ ウ ヒメウ EN 岩手県D 夏島 バリカン サギ ゴイサギ 留島 ブマツバメ アマツバメ フジェウカギ 留島 アマツバメ アマツバメ アマツバメ 夏島 アマツバメ アマツバメ フジェウカギ を島島 フシスリンシャース マンジロウェス を島島 アンシモン 安島 カモメ シミスズメ アンシカモメ を島島 アンシカモメ 全島 ウミスズメ ハシブトウミガラス R 名島 日島				岩手県D	
コンジロウミツバメ 岩手県D 夏島 1 日本の		ウミツバメ	クロコシジロウミツバメ		
カツオドリ ウ 上 上 上 ウ 空島 空島 空島 で で で で で で で で で			ヒメクロウミツバメ		夏鳥
マリカン サギ			コシジロウミツバメ	岩手県D	夏鳥
マリカン サギ	カツオドリ	ウ	ヒメウ	EN 岩手県C	留鳥
ペリカン サギ ゴイサギ 留島 アマツバメ アマツバメ 夏島 チドリ シギ キアシシギ 旅島 カモメ ミツコビカモメ 冬島 セグロカモメ 冬島 セグロカモメ 冬島 ウミスズメ カンムリウミスズメ CR 岩手県A 谷島 カンムリウミスズメ アショウミスズメ WU 医内希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希かり・国際希の少・国際名の大学教育の中央の大学教育の中央の大学教育の中央の大学教育の大学教育の大学教育の大学教育の大学教育の大学教育の大学教育の大学教育					
アマツバメ アマツバメ ファッパメ ファッパメ ファッパメ ファッパス ファッカモメ クラネコ ファッカモメ クラネコ ファッカモメ クラネコ ファッカモメ クラネコ ファッカモメ クラネス クラス クラス	ペリカン	サギ	<u> </u>		<u>田</u> 田
アマツバメ アマツバメ 夏島 旅島 チドリ シギ キアシシギ 旅島 カモメ ミツユビカモメ 冬島 ウミスズメ イオセグロカモメ 名島 ウミスズメ (R 岩手県A) 冬島 カンムリウミスズメ W 天然記念物 岩手県C カンムリウミスズメ W 天然記念物 岩手県C カンムリウミスズメ WU 国内希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際	1 1 7 7 7	9 9			<u>田</u>
チドリ シギ カモメ キアシシギ 名鳥 旅鳥 カモメ ミツコピカモメ 名鳥 セグロカモメ 名鳥 ウミスズメ ハシブトウミガラス 名鳥 ウミスズメ 日本	アつツバメ	アラツバメ			
カモメ ミツコビカモメ 冬鳥 ウミスコ 留島 ウミスズメ スオヤセグロカモメ 冬鳥 ウミスズメ CR 岩手県A 冬鳥 カンムリウミスズメ CR 岩手県A 冬鳥 カンムリウミスズメ WU 天然記念物岩手県A 日内希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際	チドル		•		<u> </u>
Pode	ノトツ				<u> </u>
Pode		ルセノ			<u> </u>
セグロカモメ 名鳥 オオセグロカモメ 名鳥 カオセグロカモメ 名鳥 ウミスズメ クシスブタ と鳥 ウミスズメ ク鳥 クシスブタ マ鳥 クシスブタ マ鳥 日本の マ鳥 マルムリウミスズメ WU 天然記念物 岩手県B 留鳥 WU 国内希少 国内希少 医務命少 天然記念物 岩手県A WU 国内希少 大変記念物 名鳥 アカゲラ 留鳥 アオゲラ 田島 日本の					<u> </u>
ウミスズメ					<u> </u>
ウミスズメ (トンブトウミガラス 皮鳥 ウミスズメ カンムリウミスズメ ア然記念物 岩手県A 図鳥 名力 〇 トビ マ株記念物 岩手県A 図鳥 図鳥 日本がり 国内希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際					<u> </u>
ウミスズメ CR 岩手県A 冬鳥 カンムリウミスズメ VU 天然記念物岩手県C 留鳥 タカ トビ 留鳥 VU 国内希少・国際希か・国際希か・国際希か・国際希かり、天然記念物岩手県A VU 国内希少・国際希かり、国際希かり、国際希かり、国際希かり、国際名の大統記念物岩手県A 大統記念物岩手県A イスリ 岩手県A フスリ 岩手県A 岩手県A イスリ 岩手県A 岩手県A 日島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島島		1. 5			
カンムリウミスズメ W 天然記念物 岩手県C 留鳥 名手県C 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		ワミススメ			
カンムリリミスグス 岩手県C 留鳥 タカ ミサゴ ○ ミサゴ NT 岩手県B 留鳥 タカ ○ トビ 昭島 本プロワシ 原希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・国際希少・大然記念物 岩手県A 2 オオワシ 天然記念物 岩手県A カスリ 岩手県A 田内希少 留鳥 アカゲラ 留鳥 アカゲラ 留鳥 アカゲラ 留鳥 アカゲラ 留鳥 アカゲラ 留鳥 スズメ サンショウクイ W 岩手県C カラス カケス 留鳥 カラス カケス 留鳥 ハシブトガラス 留鳥 シジュウカラ 留鳥 とヨドリ ヒョドリ 留鳥 ウグイス 白鳥 オジロ メジロ 国鳥 ゴジュウカラ コジュウカラ 留鳥 ミソサザイ ミソサザイ 留鳥			<u>ウミスズメ</u>		
P			<u> </u>	岩手県C	
A ジロワシ	タカ	ミサゴ	○ ミサゴ	NT 岩手県B	留鳥
本ジロワシ					
オオワシ 天然記念物 名鳥 岩手県A オフリ 岩手県D 留鳥 フスリ 岩手県D 留鳥 アカゲラ 宮鳥 アカゲラ 留鳥 アオゲラ 留鳥 ハヤブサ ハヤブサ ハヤブサ 日本・アオゲラ 日島・東京 カケス カラス カケス カラス カケス 日島・アシボソガラス 日島・アシボソガラス 日島・アシボソガラス 日島・アシボノガラス 日島・アシボノガラス 日島・アンボノガラス 日島・アンボノガラス 日島・アンボノガラス 日島・アンボノガラス 日島・アンボノガラス 日島・アンボノガラス 日島・アンボノガラ 日島・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・			○ トビ		
キツツキ コゲラ 留鳥 アカゲラ 留鳥 アオゲラ 留鳥 ハヤブサ ハヤブサ W 国内希少岩手県A 留鳥 スズメ サンショウクイ W 岩手県C 留鳥 カラス カケス 留鳥 ハシボソガラス 留鳥 シジュウカラ ヤマガラ 留鳥 ヒョドリ ヒョドリ 田鳥 ウグイス ウグイス 田鳥 メジロ メジロ 田鳥 ゴジュウカラ ゴジュウカラ 田鳥 ミソサザイ ミソサザイ 留鳥			- <u> </u>	国内希少・国 際希少 天然記念物	留鳥
アカゲラ 留鳥 アオゲラ 図鳥 図鳥 WU 国内希少岩手県A 日島 日島 カラス サンショウクイ WU 岩手県C カラス 田島 カラス 四島 ハシボソガラス 田島 シジュウカラ 田島 セコドリ 田島 ウグイス ロ島 マブサメ 夏鳥 メジロ コジュウカラ 田島 エジュウカラ コジュウカラ 田島 ミソサザイ ミソサザイ			<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u>	国内希少・国際希少	留鳥 冬鳥 冬鳥
アオゲラ 田鳥	+ WW.+	タカ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> フスリ	国内希少・国際希少	留冬冬日
ハヤブサ ハヤブサ W 国内希少岩手県A 留鳥 スズメ サンショウクイ サンショウクイ W 岩手県C 留鳥 カラス カケス 留鳥 ハシボソガラス 留鳥 ハシブトガラス 留鳥 シジュウカラ 留鳥 ヒヨドリ 日島 ウグイス 日島 マブサメ 夏鳥 メジロ 田鳥 ゴジュウカラ ゴジュウカラ ミソサザイ ミソサザイ	キツツキ	タカ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> フスリ コゲラ	国内希少・国際希少	留冬~~~~留留
ハヤノザ 出手県A サンショウクイ サンショウクイ WU 岩手県C 留鳥	キツツキ	タカ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> フスリ コゲラ アカゲラ	国内希少・国際希少	留 冬 室留留
カラスカケス留鳥ハシボソガラス留鳥ハシブトガラス留鳥シジュウカラ留鳥ヒヨドリヒヨドリ留鳥ウグイスウグイス留鳥オジロメジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	キツツキ	タカ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> フスリ コゲラ アカゲラ	国内希少·国 際希少 天然記念物 岩手県A WU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 室留留
ハシボソガラス 留鳥 ハシブトガラス 留鳥 シジュウカラ 留鳥 ヒヨドリ ヒヨドリ ウグイス 留鳥 ウグイス 留鳥 オジロ メジロ ゴジュウカラ 留鳥 ミソサザイ 図鳥	ハヤブサ	タカ キツツキ ハヤブサ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> /スリ コゲラ アカゲラ アオゲラ ハヤブサ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 客 留留留留留留
ハシブトガラス 留鳥 シジュウカラ 留鳥 ヒヨドリ ヒヨドリ ウグイス 空鳥 ヤブサメ 夏鳥 メジロ メジロ ゴジュウカラ ゴジュウカラ ミソサザイ ミソサザイ	ハヤブサ	タカ キツツキ ハヤブサ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ アオゲラ ハヤブサ サンショウクイ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 冬 留留留留 留 留鳥 鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥
ハシブトガラス留鳥シジュウカラ留鳥ヒヨドリヒヨドリ留鳥ウグイスウグイス留鳥ヤブサメ夏鳥メジロメジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	ハヤブサ	タカ キツツキ ハヤブサ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ アオゲラ ・ ハヤブサ サンショウクイ カケス	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 冬 留留留留 留留留
シジュウカラ留鳥 シジュウカラ留鳥 留鳥ヒヨドリヒョドリ留鳥ウグイスウグイス留鳥ヤブサメ夏鳥メジロメジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	ハヤブサ	タカ キツツキ ハヤブサ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 冬 留留留留 留留留留
シジュウカラ留鳥ヒヨドリヒヨドリ留鳥ウグイスウグイス留鳥ヤブサメ夏鳥メジロメジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	ハヤブサ	キツツキ ハヤブサ サンショウクイ カラス	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 冬 留留留留 留留留留
ヒヨドリヒヨドリ留鳥ウグイスウグイス留鳥ヤブサメ夏鳥メジロメジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	ハヤブサ	キツツキ ハヤブサ サンショウクイ カラス	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> <u>ノスリ</u> <u>コゲラ</u> アカゲラ アオゲラ ○ ハヤブサ サンショウクイ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 冬 留留留留留留留留留
ウグイスウグイス留鳥ヤブサメ夏鳥メジロメジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	ハヤブサ	キツツキ ハヤブサ サンショウクイ カラス	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> <u>ノスリ</u> <u>コゲラ</u> アカゲラ アオゲラ ○ ハヤブサ サンショウクイ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 客 留留留留留留留留留留
ヤブサメ夏鳥メジロメジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	ハヤブサ	キツツキ ハヤブサ サンショウクイカラス シジュウカラ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ アオゲラ ハヤブサ サンショウクイ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 客 留留留留留留留留留留留留
メジロ留鳥ゴジュウカラゴジュウカラ留鳥ミソサザイミソサザイ留鳥	ハヤブサ	キツツキ ハヤブサ サンショウクイカラス シジュウカラ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ アオゲラ ハヤブサ サンショウクイ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 客 留留留留留留留留留留留留
<u>ゴジュウカラ ゴジュウカラ 留鳥</u> ミソサザイ ミソサザイ 留鳥	ハヤブサ	キツツキ ハヤブサ サンショウクイカラス シジュウカラ	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 客 留留留留留留留留留留留留留留
_ミソサザイ ミソサザイ 留鳥	ハヤブサ	タカ キツツキ ハヤブサ サンショウクイ カラス シジュウカラ ヒョゲイス	<u>オジロワシ</u> <u>オオワシ</u> <u>ノスリ</u> <u>コゲラ</u> アカゲラ アオゲラ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 宮留留留留留留留留留留夏息鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥
	ハヤブサ	タカ キツツキ ハヤブサ サンショウクイ カラス シジュウカラ ヒヨドリウグイス メジロ	オジロワシ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 冬 留留留留留留留留留留窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗窗
	ハヤブサ	タカ キツツキ ハヤブサ サシス シジュウカラ ヒガイ メジュウカラ メゴジュウカラ	オジロワシ	国内希少・国際希少 天然記念物 岩手県A VU 国内希少 天然記念物 岩手県A 岩手県D	留 冬 多 留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留留

目		種または亜種	種の指定等	備考
	ヒタキ	シロハラ		冬鳥
		イソヒヨドリ		留鳥
		サメビタキ	岩手県D	夏鳥
		キビタキ		夏鳥
	セキレイ	ハクセキレイ		留鳥
	アトリ	カワラヒワ		留鳥
		ハギマシコ		冬鳥
		ベニマシコ		冬鳥
	ホオジロ	ホオジロ		留鳥
		アオジ		留鳥
ハト	ハト	カワラバト		留鳥
合計 12目	28科	57種		

- 1. データは既存文献、鳥獣保護区管理員報告書、平成30年度国指定三貫島鳥獣保護区指定計画策定調査業務の現 地調査結果に拠る。
- 2. 鳥類の目・科・種(和名)及び配列は、日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会、2012年)に拠った。
- 3. 種指定等の要件は次の通りである。

環境省レッドリスト2020

EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

国内希少: 絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存法に関する法律による国内希少野生動植物種 国際希少:絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存法に関する法律による国際希少野生動植物種 天然記念物

岩手県レッドデータブック

Aランク:絶滅の危機に瀕している種(環境省RDBの絶滅危惧 I 類に相当) Bランク:絶滅の危機が増大している種(環境省RDBの絶滅危惧Ⅱ類に相当)

Cランク:存続基盤が脆弱な種(環境省RDBの準絶滅危惧に相当)

Dランク: Cランクに準ずる。優れた自然環境の指標となる。岩手県を南限または北限とする種。

- 4. ○印は当該区域において一般的に見られる鳥獣。アンダーラインは鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 第2条第4項により特に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣及び天然記念物に指定された鳥
- 5. 備考欄には、鳥類については留鳥、夏鳥、冬鳥、旅鳥又は迷鳥の別を記載する。